

平成 20 年度 第 3 回 男女共同参画懇話会 議事録

日 時 2008年12月15日(月)午前9時30分～午前11時50分

場 所 市役所 東館3階 教育委員会室

出席委員 古賀、山本、石川、加藤、具、鈴木、都築、三和、米正、渡邊

欠席委員 魚住、宮崎

事務局 課長、課長補佐、犬塚、野口

1. あいさつ

古賀委員よりあいさつ。

2. 議題

(1) 平成19年度事業評価・改善提案を受けての各課回答について

別紙、「第2次とよあけ男女共同参画プラン 平成19年度事業評価結果」の「担当課回答」について説明。

意見交換

課題番号33「男性のための家事・育児セミナー等」について

- ・ 講座参加者数が累計の方が分かりやすい。
- ・ HP上に掲載しているとしても、「男の料理」というキーワードを何度も使ったりしないと、ネット検索で上位に出てこない。その辺りを配慮してHPに掲載してはどうか。

課題番号110「家庭相談室」について

- ・ 家庭相談員が児童虐待専門ではないということなので、その他どのような相談をどのような割合で受けているのか、内容・件数等を教えてほしい。
- ・ 相談員の育成が難しいということだが、現在の相談員が後継者を育てていく必要があるのではないか。
- ・ 地元の顔でつながるのではなく、関係する各機関ごとに現在の相談員についていくなどして、顔をつなげていくことができれば、ネットワークが作っていけるのでは。
- ・ 家庭の福祉・児童の福祉のために、関係機関がもっと連携を深めていくことがまず大事。現実には縦割りということが多いため、横のネットワークを強化してほしい。
- ・ 相談は、その内容で細分化できるようなものではない。子ども、高齢者、夫婦間などいろんな問題があるので、それを包括的に相談できるような窓口はひとつの方が本当は良い。
- ・ 相談業務というのは複雑多様で、その全てに精通するのは不可能である。相談員は、とにかく相談者の話を聞き、専門の機関へつなげるという能力を身につけてほしい。

- ・「男女共同参画推進のため」ということなので、この懇話会としてどの程度までこの問題にあたるかという面もある。

課題番号 165 「総括 各種審議会等への女性登用及び参画促進」について

- ・ 区長・町内会長の女性登用への働きかけはどのようにしていくのか。
- ・ 名古屋市では「活動する人の名前を記入してください。」という文言を入れただけで、女性の名前にだいぶ変わった。その文言を入れてみてはどうか。
- ・ 実際今年町内会長をしているが、どちらの名前がというのは意識しないで、夫婦で協働して町内会の仕事にあたっている。現実には、各家庭の事情があるということも考慮しなければならない。

決定事項

「担当課回答」について質疑がある場合は、直接事務局へ連絡。事務局で不明な点は各課へ再度聞き取り等をする。

(2) シェイクハンド原稿について

別紙、推進部会案と事務局案について説明。欠席した魚住委員の見解を紹介した後、どのような記事内容にするか話し合いに入った。

意見交換

- ・ 事務局案について、誌面がごちゃごちゃし過ぎて、字ばかりで見づらい。
- ・ 編集後記に評価の感想を入れるのは筋違いである。また、編集後記を書いた者のイニシャルだけでも入れるべき。
- ・ 評価結果は、事務局案の文章で書かれているものでも分かりやすい。
- ・ 事務局で作成した物は、レイアウトが良くない。
- ・ 今回、推進部会から依頼を受けた三和委員が作成したものを、何の確認もなく事務局で全て作り直したのはルール違反なのは。
- ・ やはり点数表は目を引くのではないか。
- ・ 数字の羅列より、文章のが市民には分かりやすいのでは。
- ・ 「豊明市初の外部評価」という文言は、市民の目を引く。そのタイトルは入れてほしい。
- ・ 「誰が？」の部分で、「予算上…」などは必要か？
- ・ 事務局の案か懇話会の案か、ということではなく、両方の良いところを採用すべき。
- ・ 推進部会案は内容のレベルが高い。ここにいる懇話会の委員が見たら分かるかもしれないが、一般市民が見たら高度な内容だ。
- ・ 「懇話会編集、豊明市発行」として出すのだから、委員が案を作成したとしても、その後

それを元に話し合い、校正していくのは当然。素案の段階であるので、これからより良いものにしていけば良い。

決定事項

最終的には、事務局と会長とで、今日出された意見を加味しながら、お互いの妥協点を見つけて作成。事務局が案を再度作成し、会長へ提案する。